

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-536534(P2008-536534A)

【公表日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-036

【出願番号】特願2007-556408(P2007-556408)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/10

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月31日(2008.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

端部間で互いに結合された、近接および遠位キノコ形網目ワイヤ形状と、前記ワイヤ形状の軸に沿ってわたされ、前記遠位ワイヤ形状の頂部に連結された折りたたみ要素とを備えた、内壁および外壁を有する組織表面に固定するための装置であって、前記折りたたみ要素が引っ張られると、前記ワイヤ形状は軸方向折りたたみ構成から第2のまたは膨張径方向外向き構成まで変化する装置。

【請求項2】

前記近接キノコ形ワイヤ形状は、前記内壁に沿って位置決めされ、前記遠位キノコ形ワイヤ形状は、前記装置が膨張径方向外向き構成にあり、それによって間に前記組織を挟む場合に、前記外壁に沿って位置決めされている、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記ワイヤ形状の前記拡張構成を維持するように、前記折りたたみ要素に取り付けることができる固締要素をさらに備えた、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記折りたたみ要素の端部に結合された結合要素をさらに備えた、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

近接キノコ形ワイヤ形状、前記組織、および前記遠位キノコ形ワイヤ形状を通過し、前記ワイヤ形状の軸から離れて配置された位置で前記キノコ形ワイヤ形状を前記組織および互いに固定させる、少なくとも1つの締付要素をさらに備えた、請求項2に記載の装置。

【請求項6】

ブーリーを有する前記遠位ワイヤ形状の頂部をさらに備えた装置であって、前記折りたたみ要素は前記近接ワイヤ形状の頂部に取り付けられ、前記ブーリーを通して前記ワイヤ形状の軸に沿ってわたされており、前記折りたたみ要素が引っ張られると、前記ワイヤ形状は折りたたみ構成から第2のまたは膨張径方向外向き構成まで変化するように戻ってワイヤ形状の軸に沿ってわたされる、請求項1に記載の装置。

【請求項7】

各端部に位置決めされた結合要素を有する網目ハンモックと、

前記ハンモックが、運搬構成から膨張締付構成まで広がるように前記ハンモックに結合

された少なくとも 1 つの膨張部材とを備えた、組織表面に固定するための装置であって、前記膨張部材が前記ハンモックの表面積に広がる装置。

【請求項 8】

前記ハンモックを枠として囲む單一片の膨張部材をさらに備えた、請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

枠によって囲まれ、前記枠および 2 つの膨張部材に緩く結合された網目ハンモックと、前記枠に結合された前記膨張部材の対向する端部と、

前記枠に摺動可能に取り付けられた前記膨張部材のその他の端部と、

前記結合要素が反対方向に引っ張られると、前記ハンモックは折りたたみ構成から膨張固定構成まで広がるように、前記膨張部材の中心に連結された結合要素とをさらに備えた、請求項 7 に記載の装置。